



コンソール組織を設定する

NetApp Console setup and administration

NetApp
February 11, 2026

目次

コンソール組織を設定する	1
NetApp Console組織にフォルダとプロジェクトを追加する	1
フォルダーとプロジェクトを使用してリソースを整理する	1
フォルダまたはプロジェクトを追加する	3
フォルダまたはプロジェクトの名前を変更する	3
フォルダまたはプロジェクトを削除する	4
フォルダまたはプロジェクトに関連付けられたリソースを表示する	4
フォルダまたはプロジェクトに関連付けられたリソースを変更する	5
フォルダまたはプロジェクトに関連付けられたメンバーを表示する	5
フォルダまたはプロジェクトへのメンバーアクセスを変更する	6
関連情報	6
NetApp Consoleのフォルダとプロジェクトにリソースを追加する	7
コンソールリソースの種類	7
組織内のリソースを表示する	7
リソースをフォルダやプロジェクトに関連付ける	8
リソースに関連付けられたフォルダとプロジェクトを表示する	8
フォルダまたはプロジェクトからリソースを削除する	9
関連情報	9
コンソールエージェントを他のフォルダやプロジェクトに関連付ける	9

コンソール組織を設定する

NetApp Console組織にフォルダとプロジェクトを追加する

ビジネス構造に合わせてフォルダーとプロジェクトを追加します。フォルダーとプロジェクトを作成したら、それらにリソースを関連付け、それらのプロジェクトへのメンバーアクセスを管理できます。

新しい組織を作成すると、コンソールによって 1 つのプロジェクトが自動的に作成されます。ほとんどの組織では、複数のプロジェクトと、整理するためのフォルダーが必要です。["NetApp Consoleのリソース階層について学ぶ"](#)。

フォルダーとプロジェクトを使用してリソースを整理する

NetApp Consoleでは、組織にはリソースを整理するのに役立つフォルダーとプロジェクトが含まれています。フォルダーは関連するプロジェクトをグループ化するのに役立ち、プロジェクトはリソースとメンバーのアクセスを管理するのに役立ちます。

フォルダ

フォルダーは関連するプロジェクトを整理するのに役立ちます。ネストされたフォルダーを作成して、組織の構造のさまざまなレベルを表すことができます。たとえば、各ビジネスユニットの最上位フォルダーを作成し、そのビジネスユニット内のさまざまなチームに対してサブフォルダーを作成することができます。次に、フォルダー内にプロジェクトを作成します。

フォルダーを使用すると、ロールの継承を使用してメンバーのアクセスをより効率的に管理することもできます。フォルダーレベルでメンバーにロールを割り当てると、メンバーはすべての子プロジェクトとフォルダーの権限を継承します。



フォルダは組織ツールであり、組織管理者、フォルダまたはプロジェクト管理者、スーパー管理者のロールなどの IAM 権限を持たないメンバーには表示されません。メンバーはフォルダーではなくプロジェクトにアクセスします。

組織管理者はフォルダーを作成して管理責任を委任できます。フォルダーを作成した後、組織管理者はメンバーに特定のフォルダーのフォルダー管理者またはプロジェクト管理者の役割を割り当てることができます。これらのメンバーは、組織全体にアクセスすることなく、そのフォルダー内のすべてのプロジェクトを管理できます。

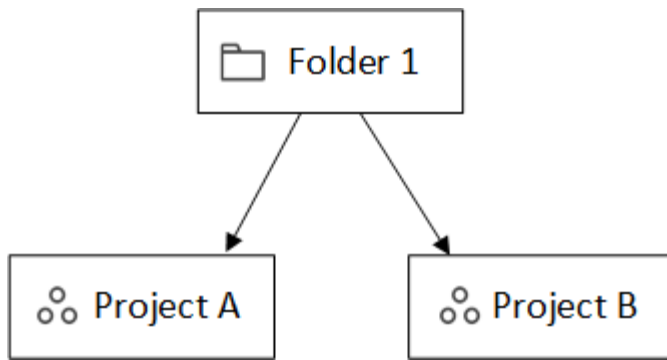
フォルダーには他のフォルダーやプロジェクトを子として持つことができますが、リソースを直接関連付けることはできません。リソースはプロジェクトに関連付ける必要があります。

リソースをフォルダに関連付けるタイミング

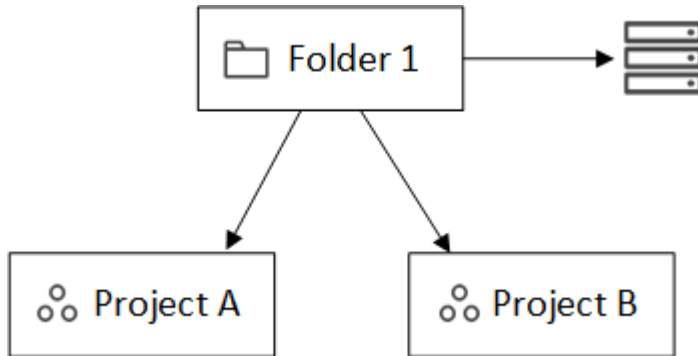
組織管理者 はリソースをフォルダーに関連付けることができるため、フォルダーまたはプロジェクト管理者 はリソースをフォルダー内の適切なプロジェクトにリンクできます。



たとえば、次の 2 つのプロジェクトを含むフォルダーがあるとします。

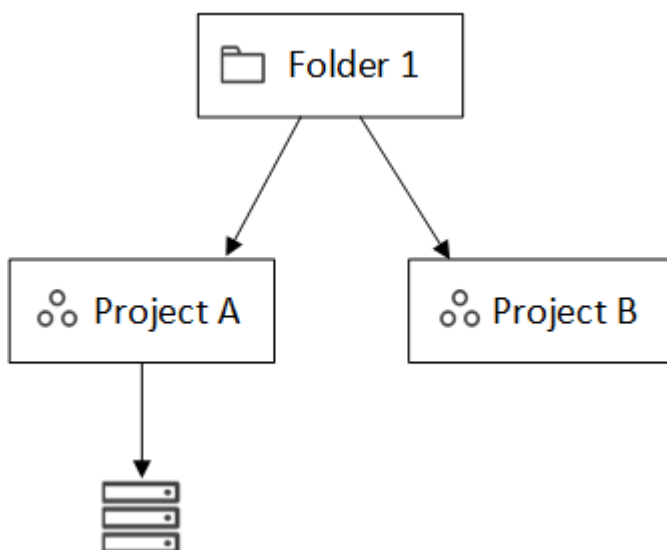


組織管理者は、リソースをフォルダに関連付けることができます。



リソースをフォルダーに関連付けても、すべてのプロジェクトがそのリソースにアクセスできるようになるわけではありません。フォルダーまたはプロジェクトの管理者のみがそれを表示できます。フォルダーまたはプロジェクト管理者は、どのプロジェクトがアクセスできるかを決定し、リソースを適切なプロジェクトに関連付けます。

この例では、管理者はリソースをプロジェクト A に関連付けます。



プロジェクト A の権限を持つメンバーは、リソースにアクセスできるようになりました。

プロジェクト

リソースをプロジェクトに関連付けて、メンバーが管理できるようにします。管理とユーザー アクセスのた

めに、リソースをプロジェクトに関連付ける必要があります。

組織は1つまたは複数のプロジェクトを持つことができます。プロジェクトは組織の直下またはフォルダー内に配置できます。エージェントを使用してプロジェクト内のリソースを検出する場合は、そのエージェントをそのプロジェクトに関連付ける必要もあります。

ユーザーは、システム ページで割り当てられたプロジェクト間を移動して、各プロジェクトに関連付けられたリソースを管理します。

フォルダまたはプロジェクトを追加する

リソースを管理するプロジェクトと、関連するプロジェクトをグループ化するフォルダーを追加します。新しい組織を作成すると、コンソールに1つのプロジェクトが含まれます。

組織のリソース構造内に最大7レベルのフォルダーとプロジェクトを作成できます。必要に応じてリソースを整理するためにネストされたフォルダーを作成します。

手順

1. *管理 > IDとアクセス*を選択します。
2. *組織*を選択します。
3. *組織*ページから、*フォルダーまたはプロジェクトの追加*を選択します。
4. *フォルダー*または*プロジェクト*を選択します。
5. フォルダまたはプロジェクトの詳細を入力してください:
 - 名前と場所: フォルダーまたはプロジェクトの名前を入力し、場所を選択します。フォルダーまたはプロジェクトを組織の下または別のフォルダー内に配置できます。
 - リソース: このフォルダーまたはプロジェクトに関連付けるリソースを選択します。コンソールにストレージ システムをまだ追加していない場合は、この手順を後で実行できます。



メンバーは、リソースがプロジェクトに割り当てられるまで、フォルダー内のリソースにアクセスできません。必要なプロジェクトを作成するまで、フォルダーを使用してリソースを一時的に保持します。これにより、組織管理者はリソースの割り当てをフォルダまたはプロジェクト管理者に委任し、フォルダ内のプロジェクトにリソースを割り当てることができます。

- アクセス: アクセスとロールを割り当てるには、*メンバーの追加*を選択します。プロジェクトまたはフォルダーへのメンバーの追加や削除はいつでも可能です。

["アクセスロールについて学ぶ"](#)。

6. *追加*を選択します。

フォルダまたはプロジェクトの名前を変更する

必要に応じてフォルダーまたはプロジェクトの名前を変更します。名前を変更しても、関連付けられているリソースやメンバー アクセスには影響しません。

手順

1. *組織*ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、... 次に、*フォルダーの編集*また

は*プロジェクトの編集*を選択します。

2. *編集*ページで新しい名前を入力し、*適用*を選択します。

フォルダまたはプロジェクトを削除する

チームの再編成やプロジェクトの完了後など、不要になったフォルダーやプロジェクトを削除します。

フォルダーまたはプロジェクトを削除する前に、そこにリソースが含まれていないことを確認してください。[リソースを削除する方法を学ぶ](#)。

手順

1. *組織*ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、...次に、[削除] を選択します。
2. フォルダーまたはプロジェクトを削除することを確認します。

フォルダまたはプロジェクトに関連付けられたリソースを表示する

フォルダーまたはプロジェクトに関連付けられているリソースとメンバーを表示します。

手順

1. *組織*ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、...次に、*フォルダーの編集*または*プロジェクトの編集*を選択します。



2. *編集*ページでは、*リソース*または*アクセス*セクションを展開して、選択したフォルダーまたはプロジェクトの詳細を表示できます。
 - 。関連するリソースを表示するには、[リソース] を選択します。表の ステータス 列には、フォルダーまたはプロジェクトに関連付けられているリソースが識別されます。

Available resources (45)						
☐	Platform Type	Resource Type	Resource Name	Status		
☐	 AWS	Cloud Volumes ONTAP HA	Keystonecvo2	Associated		
☐	 AWS	Cloud Volumes ONTAP HA	kfuKeystone1vadim	Associated		
☐	 AWS	Cloud Volumes ONTAP	cvo1Vadim	Associated		
☐	 AWS	Cloud Volumes ONTAP HA	cvoparts11test	Associated		

フォルダまたはプロジェクトに関連付けられたリソースを変更する

組織のニーズの変化に応じて、フォルダーまたはプロジェクトに関連付けられているリソースを変更できます。

手順

1. *組織*ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、...次に、*フォルダーの編集*または*プロジェクトの編集*を選択します。
2. *編集*ページで*リソース*を選択します。

表の **ステータス** 列には、フォルダーまたはプロジェクトに関連付けられているリソースが識別されます。

3. 関連付けまたは関連付けを解除するリソースを選択します。
4. 選択したリソースに基づいて、*プロジェクトに関連付ける*または*プロジェクトとの関連付けを解除する*のいずれかを選択します。

Available resources (45) | Selected (3)

Actions: Associate with the project | Disassociate from the project

☐	Platform Type	Resource Type	Resource Name	Status
☒	AWS	Cloud Volumes ONTAP HA	Keystonecvo2	Associated
☒	AWS	Cloud Volumes ONTAP HA	kfuKeystone1vadim	Associated
☒	AWS	Cloud Volumes ONTAP	cvo1Vadim	Associated
☐	AWS	Cloud Volumes ONTAP HA	cvoparts11test	Associated
☐	AWS	Cloud Volumes ONTAP	cvosecondaryparts11	Associated
☐	AWS	Cloud Volumes ONTAP HA	keystonetest	Associated
☐	AWS	Cloud Volumes ONTAP HA	keystonetesting55	Associated

オプションが表示されている [プロジェクトの編集] ページのスクリーンショット。"]

5. *適用*を選択します。

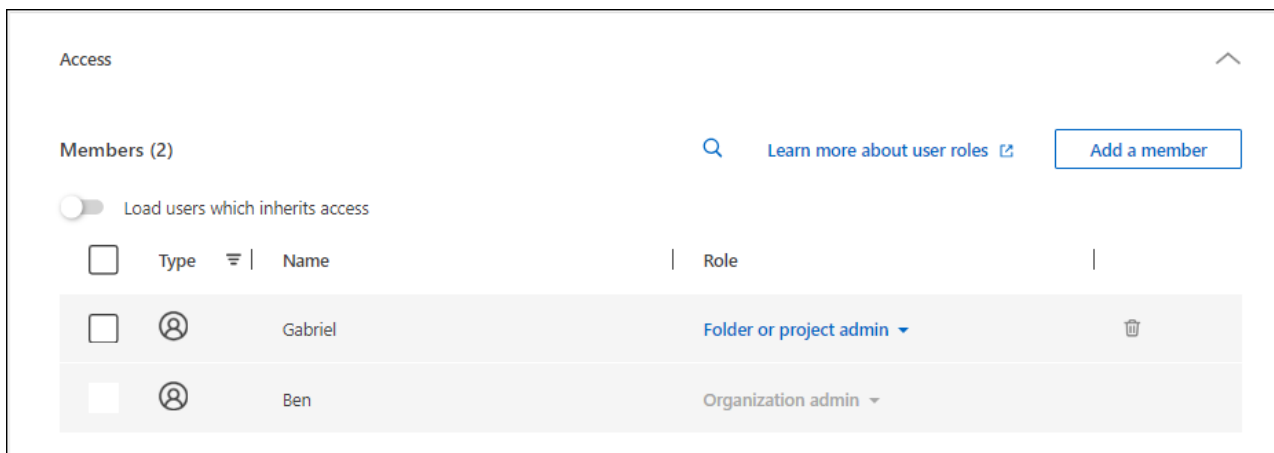
フォルダまたはプロジェクトに関連付けられたメンバーを表示する

組織 ページから、フォルダーまたはプロジェクトに関連付けられているメンバーを表示できます。

手順

1. *組織*ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、...次に、*フォルダーの編集*または*プロジェクトの編集*を選択します。

2. ***編集***ページで***アクセス***を選択すると、選択したフォルダーまたはプロジェクトにアクセスできるメンバーのリストが表示されます。
 - フォルダーまたはプロジェクトにアクセスできるメンバーを表示するには、「アクセス」を選択します。



フォルダまたはプロジェクトへのメンバーアクセスを変更する

メンバー アクセスを変更してリソース アクセスを制御します。フォルダー レベルで割り当てられたロールは、すべての子プロジェクトとフォルダーに継承されることに注意してください。

フォルダーまたは組織レベルから継承されたメンバー アクセスを下位レベルで変更することはできません。上位階層レベルでメンバーの権限を変更してアクセスを変更するか、"[メンバーページから権限を管理する](#)"。

手順

1. ***組織***ページで、テーブル内のプロジェクトまたはフォルダに移動し、**...**次に、***フォルダーの編集***または***プロジェクトの編集***を選択します。
2. ***編集***ページで***アクセス***を選択すると、選択したフォルダーまたはプロジェクトにアクセスできるメンバーのリストが表示されます。
3. メンバーアクセスの変更:
 - メンバーを追加: フォルダーまたはプロジェクトに追加するメンバーを選択し、役割を割り当てます。
 - メンバーの役割を変更する: 組織管理者以外の役割を持つメンバーの場合は、既存の役割を選択してから、新しい役割を選択します。
 - メンバーのアクセスを削除: 表示しているフォルダーまたはプロジェクトで定義されたロールを持つメンバーのアクセスを削除できます。
4. ***適用***を選択します。

関連情報

- "[NetApp ConsoleのIDとアクセスについて学ぶ](#)"
- "[アイデンティティとアクセスを始める](#)"
- "[アイデンティティとアクセスAPIについて学ぶ](#)"

NetApp Consoleのフォルダとプロジェクトにリソースを追加する

NetApp Console組織内のプロジェクトとフォルダにリソースを追加して、ユーザーのリソース アクセスを制御します。プロジェクト レベルでユーザーにアクセス権を付与します。

リソース は、ストレージ リソース、コンソール エージェント、バックアップおよびリカバリ ワークロード など、コンソールが認識するエンティティです。

コンソールの*リソース*ページからリソースを表示および管理できます。

コンソールリソースの種類

NetApp Console組織内のプロジェクトには、いくつかの種類のリソースを関連付けることができます。

ストレージリソース

ストレージ リソースは、組織内で最も一般的なタイプのリソースであり、オンプレミスとクラウド ストレージ システムの両方を表します。コンソールにストレージ システムを追加するときに、それをフォルダーまたはプロジェクトに追加できます。それまでは、コンソールはそれを未検出としてマークし、リソース ページには表示しません。

コンソールエージェント

コンソール エージェントを使用してストレージ システムを検出した場合は、エージェントを同じフォルダーまたはプロジェクトに追加します。これにより、ユーザーはデータ サービスやコンソール ネイティブのストレージ管理などのエージェント対応機能を実行できます。コンソールの エージェント ページから、フォルダーまたはプロジェクトにエージェントを追加できます。["コンソールエージェントをフォルダまたはプロジェクトに関連付ける方法を学びます"](#)。

Keystoneのサブスクリプション

組織内でKeystoneサブスクリプションがある場合は、リソース ページでそれを表示できます。Keystoneサブスクリプションをフォルダーまたはプロジェクトに関連付けて、それらのフォルダーまたはプロジェクトに対する権限を持つメンバーにアクセスを提供することができます。

組織内のリソースを表示する

組織に関連付けられている検出されたリソースと未検出のリソースの両方を表示できます。システムはストレージ リソースを検出し、コンソールに追加されるまでそれらを未検出としてマークします。



ユーザーがAmazon FSx for NetApp ONTAPリソースが除外されます。これらのリソースは、システム ページまたはワークロードから表示できます。

手順

1. *管理 > IDとアクセス*を選択します。
2. *リソース*を選択します。
3. *高度な検索とフィルタリング*を選択します。
4. 利用可能なオプションを使用してリソースを見つけます。

- リソース名で検索: テキスト文字列を入力し、*追加*を選択します。
- プラットフォーム: Amazon Web Services など、1 つ以上のプラットフォームを選択します。
- リソース: Cloud Volumes ONTAPなどの 1 つ以上のリソースを選択します。
- 組織、フォルダー、またはプロジェクト: 組織全体、特定のフォルダー、または特定のプロジェクトを選択します。

5. *検索*を選択します。

リソースをフォルダやプロジェクトに関連付ける

リソースをフォルダーまたはプロジェクトに関連付けると、そのフォルダーまたはプロジェクトに対する権限を持つメンバーがリソースを利用できるようになります。

手順

1. リソース*ページで、テーブル内のリソースに移動し、...次に、[*フォルダーまたはプロジェクトに関連付ける]を選択します。
2. フォルダーまたはプロジェクトを選択し、[承認] を選択します。
3. 追加のフォルダーまたはプロジェクトに関連付けるには、[フォルダーまたはプロジェクトの追加] を選択し、フォルダーまたはプロジェクトを選択します。

管理者権限を持つフォルダーとプロジェクトからのみ選択できることに注意してください。

4. *リソースの関連付け*を選択します。

- リソースをプロジェクトに関連付けると、それらのプロジェクトに対する権限を持つメンバーは、コンソールからリソースにアクセスできるようになります。
- リソースをフォルダーに関連付けると、フォルダーまたはプロジェクトの管理者がリソースにアクセスし、フォルダー内のプロジェクトに関連付けることができるようになります。["リソースをフォルダに関連付ける方法について学習します"](#)。

終了後の操作

コンソール エージェントを使用してリソースを検出する場合は、コンソール エージェントをプロジェクトに関連付けてアクセスを許可します。そうでない場合、組織管理者 ロールを持たないメンバーはコンソール エージェントとその関連リソースにアクセスできません。

["コンソールエージェントをフォルダまたはプロジェクトに関連付ける方法を学びます"](#)。

リソースに関連付けられたフォルダとプロジェクトを表示する

特定のリソースに関連付けられているフォルダーとプロジェクトを表示できます。



どの組織メンバーがリソースにアクセスできるのかを確認する必要がある場合は、["リソースに関連付けられているフォルダとプロジェクトにアクセスできるメンバーを表示します"](#)。

手順

1. *リソース*ページで、テーブル内のリソースに移動し、...次に、[詳細を表示] を選択します。

次の例は、1 つのプロジェクトに関連付けられているリソースを示しています。

Folders (0) Project (1)		Associate to folder or project
Type	Associated folders or projects	
	MyOrganization	
	MyOrganization > Project1	



どの組織メンバーがリソースにアクセスできるのかを確認するには、"[関連付けられたフォルダとプロジェクトへのアクセス権を持つメンバーを表示する](#)"。

フォルダまたはプロジェクトからリソースを削除する

フォルダーまたはプロジェクトからリソースを削除するには、その関連付けを削除します。これにより、メンバーはそのフォルダーまたはプロジェクト内のリソースを管理できなくなります。



検出されたリソースを組織全体から削除するには、「システム」ページに移動してシステムを削除します。

手順

1. *リソース*ページで、テーブル内のリソースに移動し、...次に、[詳細を表示] を選択します。
2. フォルダまたはプロジェクトからリソースを削除するには、 フォルダーまたはプロジェクトの横にあります。
3. 関連付けを削除するには、[削除] を選択します。

関連情報

- ["NetApp ConsoleのIDとアクセスについて学ぶ"](#)
- ["NetApp ConsoleでIDとアクセスを開始する"](#)
- ["IDとアクセスのためのAPIについて学ぶ"](#)

コンソールエージェントを他のフォルダやプロジェクトに関連付ける

コンソール エージェントを特定のプロジェクトに関連付けて、リソース管理とデータ サービス アクセスを有効にします。コンソール エージェントを通じて検出されたリソースでは、チーム アクセスのために、リソースとエージェントの両方が同じそれぞれのプロジェクトに関連付けられている必要があります。

スーパー管理者と組織管理者はエージェントを作成し、任意のエージェントを任意のプロジェクトまたはフォルダに関連付けることができます。フォルダーまたはプロジェクトの管理者は、権限を持つフォルダーとプロジェクトにのみ既存のエージェントに関連付けることができます。["フォルダまたはプロジェクト管理者が実行できるアクションの詳細"](#)。

手順

1. 管理 > IDとアクセス > *エージェント*を選択します。
2. 表から、関連付けるコンソール エージェントを見つけます。

特定のコンソール エージェントを検索するには、表の上にある検索機能を使用するか、リソース階層で表をフィルター処理します。

3. コンソールエージェントにリンクされたフォルダとプロジェクトを表示するには、...次に、[詳細を表示]を選択します。

このページには、コンソール エージェントに関連付けられているフォルダーとプロジェクトの詳細が表示されます。

4. *フォルダーまたはプロジェクトに関連付ける*を選択します。
5. フォルダーまたはプロジェクトを選択し、[承認]を選択します。
6. コンソール エージェントを追加のフォルダーまたはプロジェクトに関連付けるには、[フォルダーまたはプロジェクトの追加]を選択し、フォルダーまたはプロジェクトを選択します。
7. *Associate Agent*を選択します。

終了後の操作

コンソール エージェントのリソースを、リソース ページの同じフォルダーおよびプロジェクトに関連付けます。

["リソースをフォルダやプロジェクトに関連付ける方法を学びます"](#)。

関連情報

- ["NetApp Consoleエージェントについて学ぶ"](#)
- ["NetApp Consoleのアイデンティティとアクセス管理について学ぶ"](#)
- ["アイデンティティとアクセスを始める"](#)
- ["IDとアクセス管理のためのAPIについて学ぶ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。